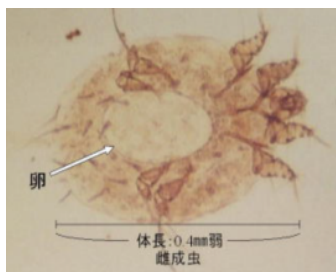


## 疥癬の基本知識

### 1 疥癬とは？

かゆい、かゆい病気です。



疥癬(かいせん)の病原体となるのは、ヒゼンダニというダニです。

「通常疥癬」と「角化型(ノルウェー)疥癬」がありますが、診断により治療法が大きく変わります。

メスの成虫で体長 0.4mm オス 0.2mm

### 2 疥癬の特徴

体温よりも低い温度では動きが鈍くなり 16 度以下では動かなくなります。  
皮膚から離れるとおおむね数時間で感染力が低下します。  
乾燥や熱には弱く、50℃、10 分で死滅します。

### 3 感染経路

#### 1) 皮膚と皮膚が接触することによる感染

雑魚寝など肌と肌との長時間の直接接触が主体です。

#### 2) 寝具の共有などによる感染

仮眠室や当直室を利用する機会の多い職場では、人肌の残っている布団などの共有で感染することがあります。

#### 3) 角化型疥癬(重症型)の患者さんを介した感染

角化型(ノルウェイ)疥癬では、多量のヒゼンダニが皮膚の角質内に存在するため、肌と肌との直接接触の他にも、剥がれた角質層が飛散することにより感染することがあります。



### 3 病型と症状

|          | 通常疥癬                  | 角化型(ノルウェイ)疥癬                  |
|----------|-----------------------|-------------------------------|
| ヒゼンダニ寄生数 | 1,000匹以下              | 100万~200万匹<br>1,000万匹以上のこともあり |
| 感染力      | 弱い                    | 強い                            |
| 主な症状     | 小さな赤い丘疹、結節、<br>疥癬トンネル | 角質増殖<br>(黄白色の厚い角質が付着)         |
| 発症部位     | 頭部以外の全身               | 全身                            |
| かゆみ      | 強い                    | かゆみは一定せず、全くかゆみを感じないこともある      |
| 潜伏期間     | 約1~2ヶ月                | 一度に大量のヒゼンダニに感染するため、4~5日のこともある |

疥癬なのかどうか、普通の疥癬か角化型疥癬か、また、患者の生活状況を把握し、感染ルートと感染範囲を推定することが大切です。

**受診の際に下記の状況を伝えましょう！！**

いつ、どこに、どのような皮膚症状が生じ、広がったか  
かゆみはどうか、夜間に強くなるのか？ 不眠はあるのか？  
身近な人に同じ症状の人がいるか

#### < 通常疥癬 >

##### チェックポイント

夜間の激しいかゆみ

指、手のひら、手首などの発疹：疥癬トンネル

(わずかに盛り上がった線状疹)

腹部、大腿部などに散在する紅色の小丘疹

陰部、わきの下などにできる赤褐色の小結節

家族、共同生活者などや、仮眠室を共有する人たちに同様の症状の人がいる など。

夜間に入眠しようとして暖かくなった時などにかゆみが増強します。  
ヒゼンダニの糞や脱皮した抜け殻などに対するアレルギー反応で赤くなったりかゆみが生じるため、治療によりヒゼンダニが死滅した後でもかゆみが残ることがあります。特に結節は半年以上続くこともあります。

#### <角化型(ノルウェイ)疥癬>

手や身体の特に出っ張りの骨の突出した部位や四肢の関節の外側など圧迫や摩擦を受けやすい部位の皮膚に、灰色～黄白色のカキ殻状に重なった厚い角質が増殖(かさぶた状)します。

手頭部や頸部、耳たぶ、爪など、通常疥癬ではみられないような部分にも症状が出ます。

手症状が爪のみに出現する爪疥癬もあります。爪白癬と似ており診断が難しいため治療が遅れることが多く集団発生の原因となる場合があります。

かゆみもさまざまで、非常に強いかゆみを訴える人から、まったくかゆみを伴わない人もいます。

増殖した角層内にはヒゼンダニが層をなして潜んでいます。これらが落屑すると、周囲に飛び散り感染の原因となります。感染力がとても強く、広範囲の施設内感染を引き起こすことが多く、普通の疥癬と比べるとはるかに問題が多くなります。

#### 4. 診断

臨床症状

検査での虫体・虫卵を検出

疥癬患者との接触機会があったかなど疫学的流行状況 の3項目を勘案し診断されます。

#### 5. 治療

皮膚科医師の指示のもとに、原則的に確定診断がついた患者に行われます。ムトーハップなどのイオウ入浴剤が市販されており、以前はよく用いられていましたが、いわゆるイオウかぶれや皮脂欠乏性皮膚炎を起こしやすく最近では使わない方がよいとされています。



外用剤( BHC軟膏・オイラックス軟膏など)の塗り方は、首から下全身に満遍なく・塗り残しなく・皮疹部だけでなく全体に塗ることが大事。特に腋窩・首・鼠径部・陰股部にたっぷり。処置は必ず手袋をはめて行う。

#### 7. 感染予防のポイント

患者の肌に触れる可能性のある衣類やタオルなどは、患者専用とします。

通常疥癬の場合は過剰な対応は不要です。日頃からの標準予防策のみでよいでしょう。

角化型(ノルウェイ)疥癬の場合は、患者の落屑(患者の皮膚から剥がれ落ち

たフケのような角質)にも大量のヒゼンダニが含まれているため、それらを飛び散らせないように治療開始後1～2週間程度は隔離等の厳密な対策が必要です。

### 発生時の対応

| 通常疥癬  | 角化型(ノルウェー)疥癬   |
|---|--|
| 不要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個室に隔離し皮膚科医師の指示のもと、治療を開始する。</li> <li>・隔離にあたっては患者(家族)の同意をとり人権に配慮する。</li> <li>・ベッド・寝具ごと個室に移動させる。</li> <li>・治療開始後1～2週間程度隔離する。</li> </ul> |
| 必要<br>(1ケア1手洗いは疥癬でなくても基本)   | 必要   |
| 不要  | <p>隔離期間のみ必要。使用後は患者の落屑(フケのような角質)が飛び散らないようにポリ袋等に入れる。</p> <p>ケア終了後は、流水と石けんで手洗いをする。</p>  |
| 通常の方法   | 入浴後に交換する。衣類・リネンについてヒゼンダニが他の人に付着するのを防ぐため、ビニール袋に入れて別に扱う。   |
| ビニール袋又は蓋付き容器に入れて運搬  | 落屑が飛び散らないように注意しビニール袋に入れ、ピレスロイド系殺虫剤を噴霧し24時間密閉する。  |
| 通常の方法   | 50～10分間熱処理後に通常の方法で洗濯または通常の方法で洗濯後に乾燥機を用いる。  |
| 消毒不要  | 隔離解除後は落屑(フケのような角質)が大量に落ちている場所は2週間閉鎖するか殺虫剤を1度だけ散布し掃除機をかける。  |
| 通常の方法   | 落屑を残さないように掃除機をかける。   |
| 不要  | 治療終了時に1回のみ熱乾燥またはピレスロイド系散布後に掃除機をかける   |
| 不要  | 患者専用とし、隔離終了時に掃除機をかけるかピレスロイド系殺虫剤を散布する。  |
| 不要  | 隔離前に患者が立ち寄った場所は1回のみ殺虫剤を散布し掃除機をかける。   |
| 対策不要  | 患者の入浴は最後とし、浴槽や流しは水で流す。脱衣所に掃除機をかける。   |
| 雑魚寝状態でなければ不要。雑魚寝状態なら予防的治療(クロタミンを1週間外用など)を検討する。予防的治療をする際はインフォームドコンセントを十分に行う。 | 同室者は症状の有無を問わず予防的治療(クロタミンを1週間外用など)を検討する。感染が隔日と考えられる職員などについては、患者との頻度・密度を配慮して予防的治療を検討する。予防的治療をする際にはインフォームドコンセントを十分に行う。  |

## 8. 高齢者施設等での早期発見・集団発生時の対策

入所時(サービス利用時)に皮膚状態を観察し、疑われる場合は皮膚科医を受診し指示に従います。

潜伏期間のため無症状のことがあるため、入所後に発見される場合もあります、入浴時など日頃から皮膚状態をよく観察し、疑われる場合は同様に皮膚科を受診し指示に従いましょう。

日頃から職員への啓発や患者発生時の対応について決めておくと、発生時に慌てなくて済みます。

集団発生の大部分は、角化型(ノルウェー)疥癬の患者が感染源となっています。免疫不全やステロイド外用剤の長期使用などにより発症していることもあるため、患者が発生した場合は感染源を特定し適切な治療、対応をしていくことが重要です。

患者と接触した者(利用者、職員、家族 等)などをリストアップし、接触状況や皮膚症状の有無などを確認し、疑われる場合は皮膚科医を受診し指示に従いましょう。

職員が診断された場合は、通常疥癬なら治療が開始し1日以上経過していれば勤務しても問題ないでしょう。

### チェックポイント

- 1 個室隔離または集団隔離をしていますか？
- 2 軟膏塗布等は医師の指示どおりに実施していますか？
- 3 ガウン、履物を専用に使っていますか？
- 4 ガウンはディスポのものを使用するか、熱湯に浸していますか？
- 5 患者の衣類・リネンは熱湯に浸してから洗濯していますか？
- 6 衣類乾燥機は利用していますか？
- 7 シーツ交換を毎日おこなっていますか？  
埃が舞い上がらないようにくるみ、ビニール袋等に入れてありますか？
- 8 掃除機は排気が外に出ないタイプのものを使用していますか？
- 9 入浴は最後にしていますか？
- 10 患者のケアは最後にしていますか？